

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	5		机上でのカリキュラムは問題ないですが、運動カリキュラムの際はお子さん同士が接触しないよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	2		死角を作らないよう常に確認しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	1	入口の階段が急で危険を伴うため声掛け等を行い安全に配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	1	ミーティングで前日の振り返りや目標を共有しています。非常勤職員には個別にわかりやすく説明するよう心掛けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	5		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			動画やオンラインで学ぶ機会を得ています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	4		カリキュラム内容の設定は当日の担当者が行なっていますが、詳細については多面的な意見を出し合い工夫しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	3		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4	1	送迎で時間が遅くなることもあり当日の振り返りが十分にできないことがあります。その分翌日のミーティングで振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2	1	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	3		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	3		送迎時に担任の先生と情報交換を行い支援につなげています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5	1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4	3	保護者を介して情報を得ています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5	2	小中学生向けの放デイのため対象となるお子さんがおりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	2	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	5	社会性を育む上で機会を設けていきたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	5	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	1	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	6	要望があれば開催したいです。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2		トラブルがあった時には速やかに対処して原因や防止策を話し合い、その後のケアにも配慮しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2	1	
	35	個人情報に十分注意しているか	8			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	4	地域の方々との関わりがあまりないため、支援の一環として今後活動を検討していきたいです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	4		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4	1	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス こすもすカレッジジュニア		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様・保護者の方のご要望や一人ひとりの特性に応じて、カリキュラム作成を行っていること。	カリキュラム内容の設定を担当者が主体的に行う一方で、その詳細な作成プロセスにおいて、多面的な意見交換を積極的に行う体制を整えている。	朝礼時には、良かった点や改善点について話し合いを行っているが、より一層柔軟に対応する。 話し合いの内容を記録し、全スタッフがいつでも共有できるノートを準備し、さらなる改善に向けた継続的な取り組みを目指す。
2	カリキュラム作成をするにあたって、楽しむ事を前提としてご利用者様が興味を持ち、意欲的に取り組める内容となるよう工夫をしていること。	ご利用者様が楽しみながら5領域をバランスよく学べるカリキュラムを提供しています。 遊びや体験を通じて学びを深める工夫を行っている。	モニタリング時にご意向を伺うだけでなく、ご利用者様同士の話し合いの場を定期的に設けることで、具体的な「やりたいこと」を自由に提案できる機会をつくる。 また、その提案をカリキュラムや活動計画に反映させることで、利用者様が自主的に行動し、積極的に取り組める環境づくりを行う。
3	保護者様とご利用者様の特性・状況の共通理解ができている。	送迎時には、保護者の方々と情報共有を積極的に行い、また、ご利用者様の日々の様子（学校や自宅での状況）に関する変化が見られた際には、迅速に対応できる体制を整えている。	スタッフに対する研修を実施し、状況に応じた柔軟かつ迅速な対応スキルを高め、より質の高いサービスを目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わりの機会の提供	保護者会や保護者様同士が顔を合わせる機会が十分に設けられていないこと。保護者様やご兄弟が参加できるイベントが少ないこと。またその為に必要な人員の確保が課題となっていること。	保護者会や保護者参加型のイベントの企画を設ける。 スタッフ増員・小規模な集まりや情報交換の場を設ける工夫を行う。
2	地域の場の活用や地域住民（子ども）との関わり	土曜日や長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供することが難しいこと。	平日においても、可能な限り（下校時間が早い時等）公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。地域のボランティア団体などの受け入れを行っていく。
3	地域自立支援協議会等への参加	自らが地域の中の社会資源であるという意識と多職種連携・地域連携の必要性について把握し日々の業務を行っていくこと。	地域にて開催されている自立支援協議会に参加することで多職種連携・地域連携できる体制を整えていく。 参加した際には情報共有を行うこととともに、業務を通して見出される課題を報告し合い地域課題への解決に向けた取り組みを進めていく。